POWERED BY Dialog

Power converting system for storage battery - connects each end of step up down chopper circuits at common connection point of converter and inverter NoAbstract Dwg 1/3
Patent Assignee: MEIDENSHA ELEC MFG CO LTD

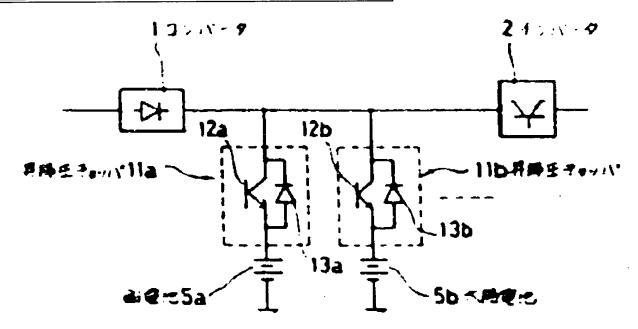
Patent Family

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Week Type
JP 1039239	A	19890209	JP 87191894	A	19870731	198912 B

Priority Applications (Number Kind Date): JP 87191894 A (19870731)

Patent Details

Patent	Kind	Language	Page	Main	IPC	Filing	Notes
JP 1039239	Α		13				



Derwent World Patents Index © 2005 Derwent Information Ltd. All rights reserved. Dialog® File Number 351 Accession Number 7824137

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭64-39239

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和64年(1989)2月9日

H 02 J 7/34

3/32 7/48 H 02 M

J -8021-5G 6846-5G

Z-8730-5H 審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称

電力変換システム

②特 願 昭62-191894

29出 願 昭62(1987)7月31日

⑫発 明 者 \blacksquare 吉

利 夫 正

東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会社明電舎内

⑫発 明 者 永 長 @発 眀 者 岡 H

東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会社明電舎内 東京都品川区大崎2丁目1番17号 株式会社明電舎内

株式会社明電舎 ②出 願 人

東京都品川区大崎2丁目1番17号

弁理士 志賀 富士弥 砂代 理

眲

1.発明の名称

電力変換システム

2. 特許請求の範囲

交流電源の交流電力を直流変換するコンパータ の直流出力電力又は電力貯蔵用電池の直流電力を インパータによつて交流変換して出力する電力変 換システムにおいて、

前記コンパータとインパータの共通接続点に複 数の昇降圧チョッパ回路の各一端を接続し、前記 複数の昇降圧チョッパ回路の各他端に、充放電特 性が互いに異なる複数の電力貯蔵用電池を各々接 続し、前記複数の電力貯蔵用電池の各充放電特性 に応じて、該複数の電力貯蔵用電池電圧と前記イ ンパータの遺焼塩圧とを合わせるように、前配各

昇降圧チョッパ回路を制御するようにしたことを 特徴とする電力変換システム。

3.発明の詳細な説明

A. 産業上の利用分野

本発明は光放電特性の異たる複数の進力貯蔵用 慌他の電力を変換する電力変換システムに関する。

B. 発明の概要

本発明はコンパータの頂流出力能力又は電力貯 殿用電池の直流電力をインバータによつて交流変 換する幅力変換システムにおいて、

コンパータおよびインパータの共通接続点と、 充放電特性が互いに異なる複数の低力貯蔵用電池 との間に、前記インバータの直流電圧と前記電池 **截圧とを合わせるように制御される昇降圧チョッ** パ回路を各々殷けることにより、

前配各電力貯蔵用電池毎に充放電量を任意に調整できるとともに、各電力貯蔵用電池の特性にマッチングした充放電が行えるようにしたものである。

C. 従来の技術

征来、電力貯取用の電池等から電力供給を受けて電力変換装置によって値流・交流変換し電力系統又は負荷系統へ電力を供給するには例えば第2図において1は交流電源(図示省略)からの交流電力を追流のであり、例えばダイオード・登流器で構成されている。2はコンパータ1の直流出力を交流変換して図示しない負荷に供給するインパータである。3は充電器であり、酸充電器3の直流出力はリアクトル4を介して電池5

との組合わせになることも考えられる。ところが 太陽 観池と 知電池では充電中の 電圧 - 時間特性も 放電中の 電圧 - 時間特性も第3 図に示すように同 一ではない (尚第3 図において 実線の 5 a は鉛電 池の特性、破線の 5 b は太陽 電池の特性である)。 このためコンパータ 1 と インパータ 2 の共通接続 点7 に前配のような充放 電特性の異なる複数の電 心を接続して電力変換システムを構成することは できないという欠点がある。

本発明は上配の点に鑑みてなされたものでその目的は、充放電特性の異なる複数の電池を支障な く活用することができる電力変換システムを提供 することにある。

型間期点を解決するための手段および作用本発明は、交流電源の交流電力を直流変換する

に供給される。光観券3によつて充電された電池5の直流電力は、図示しない交流電源の停電時にサイリスタスイツチ6がオン制御されることによつてインバータ2に供給される。

D. 発明が解決しようとする問題点

上記のような電力変換システムでは、 能力貯蔵源、 直流電力発生源としての電池 5 は 1 種類のみ 敬けるものとして考えられているので、 コンバータ 1 の直飛出力電圧と電池 5 の電圧合わせは比較 的容易に行える。しかし近年の新エネルギーシステム(電力貯蔵システム、 燃料電池システム等)においては、 その貯蔵源が平一であることは少なくなり、 複数値数けるシステムが多用されてきている。 すなわち、 例えば 大発電では発電起力が不安定であるので 鉛電では発電を対するで

P. 実施例

以下、図面を参照しなから本発明の一実施例を 説明する。第1図において第2図と同一部分は同 一符号を持つて示しその説明は省略する。 舶配コ ンパータ 1 とインパータ 2 の共通接続点には昇降 圧チョッパ 11 a 、 11 b … の一端が接続されている。 昇降圧チョッパ 11 a はチョッパ用のトランシスタ 12 a と図示極性のダイオード 13 a とを並列接続し で構成されている。昇降圧チョッパ 11 b も 前配同 様にトランシスタ 12 b と 阿示極性のダイオード13b とを並列接続して 構成されている。 昇降圧チョッパ 11 a の 他端は 知 電 地 5 a を 介 し て 接地 され、 昇 降 氏チョッパ 11 b の 他端は 太陽 電 地 5 b を 介 して 接地されている。 尚前 紀チョッパ 回路 および電池 は任涯の 個数般けるものである。

上記のように構成された装置において、昇降圧チョッパ II a . II b … を制御するための制御国路(図示省略)は次のような制御を行う。すなわち 電池 5 a . 5 b … の各充放戦特性に応じて電池 5 a .

しても、能力変換システムは残余の貯蔵電力量の 範囲で動作する機能を有しているので、その間切 能した概他のメンテナンスが可能となる。

- (4) 昇降圧チョッパは各々独立して制御できるので、特性の異なる協地毎に充電量、放電量を任意に調整でき、協力変換システムの総合機能を損わない範囲でそれぞれの協地の特性にマッチングした充放敵が行なえる。
- (5) 複数の包制は各特性、能力に応じた最適範囲で容量、進圧を選択することができる。
- (6) 同様に昇降圧チョッパも容骸に合わせて個々に選択することができる。
- 4. 図面の簡単を説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、 第2図は従来の電力変換システム(無停電電源装 5 b …の電圧とインパータ2の直流電圧(コンパータ1の出力電圧)とを合わせるように、昇降圧チョツパ11 a , 11 b …毎に制御するものである。

尚、能力貯敷源として般ける競池は、定常既圧、 過度電圧特性が異なる複数の電池であつても良い。

G. 発明の効果

以上のように本発明によれば次のような効果が 得られる。すなわち、

- (1) 充放電特性の異なる複数の電力貯蔵源としての電池をコンパータとインパータの共通接続点に接続することができる。
- (2) 複数の電池の足常的、過渡的特性が各々異なつても何ら支障なくコンパータとインパータの 共通接続点に接続することができる。
 - (3) 必要に応じて2個以上の電池を個別に切離

服)の一例を示すブロック図、第3図は鉛電池と 太陽電池の充放電特性図である。

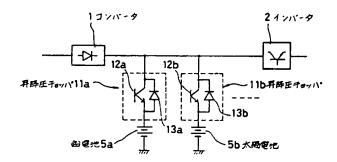
1 …コンパータ、 2 …インパータ、 5 a … 鉛銭 他、 5 b … 太陽健他、 11 a , 11 b … 昇降圧チョッ

代理人 志 賀 富 士 妳

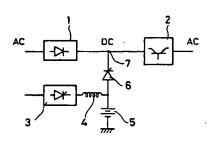




第 1 図 実施例のブロック図



第2図 従来板匠のブロック図



第3図

